



2022年 12月 子育てワンポイント

テーマ 「子どもが育つ魔法の言葉」

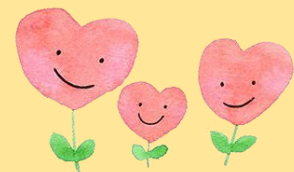


「子どもが育つ魔法の言葉」というテーマがある時にドロシー・ロー・ノルト氏が1954年に書いたものが最も有名であると言えるでしょう。その言葉について今回はお話していきます。

「愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ」これは冒頭にある詩の言葉です。つまり「子は親の鏡」ということですね。子どもは日々、親の姿、言葉から学ぶからこそ、親の言葉掛けの大切さが身に染みます。



けなされて育つと子どもは人をけなすようになる。
とげとげした家庭で育つと子どもは乱暴になる。
不安な気持ちで育てると子どもも不安になる。
かわいそうな子だと言って育てるとみじめな気持ちになる。
子どもをバカにすると引っこみじあんな子になる。
叱りつけてばかりいると「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう。



励ましてあげれば子どもは自信をもつようになる。
広い心で接すればキレる子にはならない。
褒めてあげれば明るい子に育つ。
認めてあげれば子どもは自分を好きになる。
見つめてあげれば頑張り屋になる。
分かち合うことを教えれば子どもは思いやりを学ぶ。
親が正直であれば子どもは正直であることの大切さを知る。
子どもに公平であれば子どもは正義感のある子に育つ。
優しく思いやりをもって育てれば優しい子に育つ

「子どもの目で物事を見る。」という行為は一見簡単そうで実は難しいもの。相手（子ども）の立場になって気持ちを考え、子どもを一人の人として尊重することだと言えます。子どもの長所であるところは日々の暮らしのほんの些細な出来事において起きるので親がそれを見逃さず言葉に出して伝えてあげてほしいです。

自分のことが好きで心が満たされている子は他にも親切にできるものです。子育てをしていると様々な悩みに直面することは多々あります。紐解いていくと答えはシンプルであったり、このような子育てにおいて支えてもらえる言葉があると拠り所になってくれることだと思います。

